

放課後等デイサービス Gripキッズ 大宮日進校 自己評価

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。  
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください

対象人数 4 人 回答者 4 人 回収 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	未回答	現状の対応について、工夫している点	改善目標、改善案
環境 体制 整備	1 利用定員が指導訓練等のスペースとの関係で適切であるか	4					
	2 職員の配置数は適切であるか	4					
業務 改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3		1		定期的な職員会議やミーティングで、目標設定や業務改善について話し合う機会を設けている。日々の支援記録や振り返りを共有し、職員からの意見や提案を取り入れながら改善につなげている。	PDCAサイクルをより全職員が意識して取り組めるよう、目標や改善内容を見える化し、進捗確認の機会を定期化する。
	4 職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保しているか	4					
適切 な 支 援 の	5 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4					
	6 子どもの適応行動の状況を図るために、アセスメントツールを使用しているか	3		1		子どもの発達状況や生活面、対人関係等を把握するため、面談や観察に加え、アセスメントシートや発達確認ツールを活用している。保護者からの聞き取りや学校等との情報共有も行い、総合的に状況を確認している。	職員間でアセスメント結果の共有をさらに充実させ、支援計画へより具体的に反映できるようにする。定期的な再評価の機会を設け、子どもの成長や変化を継続的に把握できる体制づくりを進める。
	7 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4					
	9 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4					
	10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせして放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		1		子どもの特性や発達段階、興味関心に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成している。個別活動では課題に応じた支援を行い、集団活動ではコミュニケーションや社会性の向上を目的とした活動を取り入れている。	子どもの状況変化や成長に応じて活動内容を柔軟に見直し、より効果的な個別・集団支援の組み合わせを検討していく。活動後の振り返りや保護者からの意見も取り入れ、支援内容の充実を図る。

提供	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		支援開始前に職員間でミーティングを行い、当日の利用児童の状況や支援内容、注意事項について共有している。役割分担を明確にすることで、安全面に配慮しながら円滑な支援につなげている。	短時間でも必要事項を確実に共有できるよう、打合せ内容の整理や記録方法の統一を進める。急な変更や情報共有漏れを防ぐため、連絡ツールや共有シート等を活用し、全職員が共通認識を持てる体制づくりを行う。	
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		支援終了後や翌日の朝礼で、職員間で振り返りを行い、子どもの様子や支援内容について情報共有している。気付いた点や課題、良かった対応等を共有することで、今後の支援改善につなげている。議事録を残し、継続的な支援に活用している。	振り返り内容をより具体的に記録し、職員全体で共有しやすい仕組みづくりを進める。非常勤職員を含めた情報共有を充実させ、支援の質向上や対応の統一につなげていく。	
	13	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	4					
	14	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4					
	15	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4					
関係機関や保護者との連携	16	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		サービス担当者会議には、子どもの日頃の様子や支援内容を把握している職員が参加し、具体的な状況や課題について共有している。関係機関や保護者との連携を大切に、支援方針の統一に努めている。	会議内容を事業所内で確実に共有できる体制を整え、参加職員だけでなく全職員が共通理解を持てるようにする。必要に応じて事前に情報整理を行い、より具体的に効果的な意見交換につなげていく。	
	17	学校との情報共有（年間計画行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4					
	18	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2			児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と、必要に応じて情報共有や相談を行っている。外部研修についても参加できる範囲で取り組み、支援に活かせるよう努めている。	専門機関との連携状況や研修参加内容を職員へ分かりやすく共有していく。今後は定期的な助言や研修機会を増やし、全職員が連携の実感を持てるよう工夫する。
	19	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4					
	20	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4					
	21	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	3	1		送迎時や面談等を通して、家庭での関わり方や子どもへの対応について助言や情報共有を行っている。保護者の不安や困りごとに寄り添いながら、家庭でも取り組みやすい支援方法を提案している。	ペアレントトレーニングの目的や支援内容について周知を進める。今後は保護者向けの勉強会や情報提供の機会を増やし、家庭での支援力向上につながる取り組みを充実させていく。	

保護者への説明責任等	22	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4					
	23	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4					
	24	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4					
	25	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4					
	26	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4					
	27	個人情報の取扱いに十分留意しているか	4					
	28	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4					
	29	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	3		1		季節行事やイベントの際に、地域との関わりを意識した活動を取り入れ、地域に開かれた事業運営を心掛けている。	地域住民の方にも参加していただける行事や交流の機会を増やし、地域とのつながりをさらに深められるよう取り組んでいく。
	非常時等の対応	30	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	3		1		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を整備し、職員間で共有を行うとともに、必要に応じて保護者への周知を行っている。
31		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4					
32		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4					
33		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		1		現在、身体拘束を行った実例はないが、緊急時に適切な対応ができるよう、研修や職員間での情報共有を通して理解を深めている。	今後も研修やマニュアル確認を継続し、子どもの安全と権利擁護を最優先とした適切な対応が行えるよう努めていく。
34		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4					